

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科
アカウンティングスクール 2008 年度秋季連続セミナー
『職業会計人への道』

～公認会計士を目指している方、企業の経理や財務の担当者として会計
実務に携わっている方、そして地方自治体職員の方へのメッセージ～

会計の現場では、ここ数年の間において、様々な要因から、今までとは違った考え方・システムが要求されることにより、戸惑う場面も多々あるのではないのでしょうか。また、会計は、企業会計だけではありません。自治体においても重要度は深まるばかりです。一方で、会計の現場において、根本的に求められる力は今も昔も変わりません。

公認会計士試験においても同じことがいえます。試験内容の傾向は毎年、変化はありますが、根本的に問われる力は変わりません。変化に対応できる力は必要ですが、まず、根本的な力が必要です。職業会計人に求められている根本的な力とは何か、また、変化に対応できる力とは何か、そして、そのために何をすればいいのかについて、一緒に考えてみませんか。

***会場:**大阪梅田キャンパス 1405 教室(第1～3回) 1004 教室(第4回)
大阪市北区茶屋町 19-19 アプローズタワー14階・10階 (tel:06-6485-5611)

参加費無料、事前申込不要

第 1 回 9 月 10 日(水) 19:00～20:00	「なぜ、監査に失敗しても、公認会計士の仕事が増えるのか」 講 師:西尾 宇一郎 関西学院大学経営戦略研究科教授 (公認会計士)
第 2 回 9 月 17 日(水) 19:00～20:00	「自治体倒産の時代ー夕張市の中学校は1つだけー」 講 師: 石原 俊彦 関西学院大学経営戦略研究科教授 (公認会計士、総務省地方公共団体内部統制研究会委員)
第 3 回 9 月 24 日(水) 19:00～20:00	「職業会計人に必要な管理会計の知識」 講 師: 浜田 和樹 関西学院大学経営戦略研究科教授
第 4 回 10 月 2 日(木) 19:00～20:00	「公認会計士試験に向けての根本力、対応力、そして試験力」 講 師: 中島 稔哲 関西学院大学経営戦略研究科准教授

◆ 講 義 内 容 ◆

★ 第 1 回 9 月 1 0 日（水） 西尾 宇一郎 関西学院大学経営戦略研究科教授

「なぜ、監査に失敗しても、公認会計士の仕事が増えるのか」

カネボウ、ライブドア、日興・・・と粉飾決算のオンパレード、そして、監査の失敗、大監査法人の崩壊。一方では、内部統制監査をはじめとして、監査の拡大、監査報酬のアップ。公認会計士監査の機能不全があっても、公認会計士の仕事と報酬は増える。その理由は。公認会計士の現状は。将来はどうなるのか。公認会計士に必要な素養と能力とは。実務家の視点から、公認会計士について語る。

★ 第 2 回 9 月 1 7 日（水） 石原 俊彦 関西学院大学経営戦略研究科教授

「自治体倒産の時代ー夕張市の中学校は1つだけー」

お任せ民主主義に胡坐をかいていると、知らぬ間に、あなたの自治体が財政危機に直面し、倒産してしまうかもしれません。破綻した夕張市には市立中学は1校だけ。本当に子供たちが気の毒です。公認会計士の果たすべき新しい社会貢献領域として、公会計改革に注目が集まっています。昨年度公認会計士試験に合格した本アカウンティングスクール修了生も、大手監査法人で公会計部門に配属されました。

★ 第 3 回 9 月 2 4 日（水） 浜田 和樹 関西学院大学経営戦略研究科教授

「職業会計人に必要な管理会計の知識」

会計学というと、すぐに財務会計を連想しがちですが、経営者や管理者への会計情報の提供を目的とした管理会計の知識は、会計専門家にとっても必要不可欠のものです。組織内で会計数値が、いかに測定され使われているか、いかに使われるべきかを知ることが、経営の実態を知る意味でも、組織体の将来方向を知る意味でも重要なことだからです。そのような管理会計について、各種の面から解説します。

★ 第 4 回 1 0 月 2 日（木） 中島 稔哲 関西学院大学経営戦略研究科准教授

「公認会計士試験に向けての根本力、対応力、そして試験力」

いわゆる「会計ビッグバン」という言葉が色褪せるくらい、企業会計の基準は重層感を増してきています。また、会計基準のコンバージェンスが耳目を集めるように、会計環境の変化は不断のものとなっています。そこでは、職業会計人にとっても、それを志す人にとっても、言わずもがな、不断的努力が必要となります。公認会計士を志す方にとって、この不断的努力とはどのようなものなのでしょうか？ 財務会計論を素材に、考えてみましょう。